

令和5年度（2023年度）
第2回 沖縄歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会

日時：令和6年3月25日（月）

20:00～22:00

場所：沖縄歯科衛生士学校

3階 B教室（3年生教室）

【出席者】

上江洲 朝 男	琉球大学教職センター 教授	教育・学術機関
仲 程 尚 子	沖縄県歯科衛生士会 監事	業界団体代表
武 富 良 悟	株式会社 沖縄歯科器材 専務	企業
平 敷 幸 浩	沖縄北谷自然海塩株式会社 専務取締役	企業
松 園 あかね	NPO 法人 キャリエイト 理事	教育・学術機関
米 須 敦 子	沖縄歯科衛生士学校 校長	オブザーバー
中 地 昭 雄	沖縄歯科衛生士学校 副校長	〃
齊 田 穰	沖縄歯科衛生士学校 教務部長	〃
志喜屋 やよい	沖縄歯科衛生士学校 教務副主任	〃
真玉橋 由 和	沖縄歯科衛生士学校 専任教員	〃

次 第

司会進行：齊田 穰

1. 開会
2. 校長挨拶
3. 出席者紹介
4. 協議事項
 - (1) 4年間（R2～R5）の学校自己評価の推移について
5. 令和6年度 学校関係者評価委員の委嘱について
6. その他
 - (1) 令和6年度 第1回 開催予定について
7. 閉会

第2回 学校関係者評価委員会報告

I. 重点目標について

- ・特に変更無し

II. 各評価項目について

1. 教育理念、目的、人材育成像

- ・設問の文言について、将来構想までを保護者に周知となると難しいと思うので、理念と目的だけを外に出して、育成人材像・特色・将来構想は（ ）にしてしまう方が良い。

2. 学校運営

- ・情報システム化等による業務の効率についての設問は、評価者が自分の業務でこのシステムを活用しているの評価なのか、評価の指標が明確では無いので評価しにくいのではないかと。そのプログラムが何を効率化しているのか、評価一覧等があるといいのではないかと。
- ・導入したシステムをいかにフル活用するかが大切ではないかと。

3. 教育活動

- ・《教職員》に関して、人が変わらなければあまり変化はないと思われるが、変動があるのが気になる。

4. 学修成果

- ・退学率について、数字だけ見ると退学が悪く見えるが、当該学生の意思が強いとか、自分で進路変更となる時に、退学の低減をはかる事が絶対かとなると、設問の書き方を変えていかないと、今の時代に即したものになっているのか疑問。
- ・学校側が処分として退学させるのと、本人が希望して退学するのでは質が違うと思うので、まとめて低減というのは気になる。
- ・勉強に追いついていけない、生活態度がだめになってというのと、他の資格取得を目指すという場合、進路変更はその学生の生き方になるので、まとめて評価するのは難しいのでは。
- ・退学する学生の傾向を把握する必要があるのでは（入学時・高校時代の成績との相関とか）
- ・こちらは他校や他職種と比較しても退学率は低いのではないのでしょうか。その部分に関しては、逆にアピールポイントになるのでは。
- ・今後、確実に退学率（休学も含めて）が増えてくる可能性はあると思われるので、一喜一憂する必要はないのではと考える。

5. 学生支援

- ・有資格者が戻らない原因等を潰していく事が大切ではないか.復職希望者が気軽に情報を得る事ができる環境整備が重要
- ・復職で学びなおす際に、対象者に補助金を出すとか、新卒学生向け就職説明会に求職者へも周知して一緒にやる等
- ・最初は来ないかも知れないが、そのような取り組みを継続する事が大事.

6. 教育環境

- ・この部分の設問に関しても、文言の改訂が必要かもしれない。「充分」という表現は数字では付けにくいと感じる。「改善に向かっている」「整備の改善がなされている」等にすると評価しやすいと思う
- ・建物自体の老朽化と PC 等設備、医療機器等、設問は分けた方がいいと思う。

7. 学生募集

異学年の組み合わせ等での臨床実習の活用の検討

- ・SNS の活用を強化する必要があると感じる.もっと学生を活用してみても定期的な更新はとても大切.
- ・受験生の保護者も見られる可能性は十分に考えられるのでそこへのアプローチができればと思う.
- ・合理的配慮についても学校も対応を求められる時代になっていると思うので、学生側からそのような申し出があった場合にどれだけの先生方が対応出来るのか.その辺の共通認識も必要だったりするのでは.・講師の懇親会のような場で横の繋がりも大切ではないか.

8. 財務

- ・情報提供不足ではないか.評価への判断材料が必要だと感じる.

9. 法令等の遵守

- ・特に問題なし

10. 社会貢献・地域貢献

- ・特になし.

その他所見

- ・本会議を経て様々な事が改善されているのがよく分かる.本委員会の意味があるのだと感じている.ただ気になる点の一つ、「Ⅲ教育活動の教職員」の 8.9.10 の項目の評価は本来高くなくてはいけない内容で、ここが高ければ、学生のやり甲斐とか、学校に通う意味も含めて他は自然と上がってくるところが出てくると思う.・この部分を上げていく為に今何が出来るのか、焦点を絞って考えていくのも必要かと、他と比較して、この部分が低いのは一番の課題なのかなと感じた.